

令和5年度 第1回八代市立博物館未来の森ミュージアム協議会 会議録

【日 時】 令和5年8月24日（木） 13:30～15:30

【場 所】 八代市立博物館 講義室

【出席者】 協議会委員7名

【事務局】 教育長、教育部部長、教育部次長、文化振興課長、博物館館長ほか職員9名

【次 第】

- 1 委嘱状交付
- 2 教育委員会挨拶
- 3 協議会会長挨拶
- 4 議題

【議事並びに発言要旨】

(1) 報告事項

- 令和4年度事業報告について、事務局より説明
- 令和5年度事業報告及び事業予定について、事務局より説明
 - (ア) 展覧会活動
 - (イ) 教育普及活動
 - (ウ) 調査研究活動
 - (エ) 資料収集活動
 - (オ) 八代市総合教育会議

委員 令和4年度の入館者数が増えており、特に春季特別展の「こわいもの大集合！」の中学生以下の入館者が多く嬉しく思う。月別を見てみると5、1月が多く、7、8月が少ないように思えるが、今年度の夏季特別展覧会は好評だと伺っている。今のところ7、8月はどのくらいの入館者数があるのか。また、道具に触れる機会は大変貴重だと思うので、もっと体験講座の日数を増やす事は出来ないのか。

事務局 夏季展は現在1,300名ほどの入館者数で、そのうち4分の1が小中学生となっている。

事務局 体験講座について、道具の扱いや管理については難しい点があり、道具と使用する人の安全を考慮して日数を限定して行った。展示室には実際に道具を触って使い方を考えるコーナーを、エントランスでは綿繰り機を設置し、開

館期間中に常に体験できる場を設けた。今後も子どもたちに道具について考えてもらう手段について考えていきたい。

委員 博物館は幅広い分野での展示、調査研究を行っており、スタッフは大変だろうと思う。1年を通じての常設展示、年4回の特別展開催等大変頑張っていると感じている。今年の春季の「堅山南風展」には、たくさんの方が来られたと聞いているが、八代との関わりについて深く踏み込んでおり、地元の方にとっても身近に感じられた展示だったと思う。また、冬季開催予定の「八代城主松井家の武器と武具」は、三回目の正直という事でぜひ実現できるように願っている。

統計資料を見ると外国人入館者が増えて来ているが、どこの国から来られているのかなど統計のカウントはどのようにしているのか。見た目では国等は判断できないと思うが。

事務局 どこの国から来られたのかは判断が難しい。受付でのコミュニケーションで判断を行っている。最近増えているクルーズ船の場合は、前もって把握できる場合がある。

委員 では、正確な数字ということではなく、把握できた範囲の数字ということですね。

委員 私は生涯学習の高齢者クラブの講座を受け持っていて、年4回の特別展覧会に来させていただいている。今まで博物館に来たことがなかった高齢者の方々も展覧会を見て大変喜んでおられる。博物館と言えば遠い存在だったが、身近に感じられるようになった。これからも利用したいので、素晴らしい展示会を楽しみにしています。

委員 秋季展が「館蔵名品展」で企画されているので、八代市民の方々により親しまれる展覧会になると期待している。一般的に名品展は借用費や運搬費などの経費があまりかからず費用が抑えられると思われるが、どういう理由で800円という料金設定にしたのか。

事務局 春と秋展は、600円以上の設定にするようになっており、今回の秋展は宮本武蔵の名品等の展示もあるので800円というに設定している。

委員 市民が名品に触れる機会を増やすために、もう少し安い設定にする努力があればいいかなと思う。学芸員の日頃の調査研究の中から選りすぐりの名品を展示されるので良い企画だと期待している。秋展に関して講演会以外に何か取り組みは予定しているのか。

事務局 秋展では、たくさん子どもたちに来てもらえるように子ども向けワークシートを準備している。博物館の宝物を未来へと継承したいという想いを込めて作成した。どなたでもわかりやすく楽しめるワークシートになっている。

～ 引き続き「令和5年度事業報告・事業予定について」事務局より説明 ～

(カ) 施設設備の整備・改修について

(キ) ミュージアムカフェについて

(ク) 3館周遊チケットについて

(2) 協議事項

■ 令和6年度事業計画(案)について、事務局から説明

(ア) 博物館の改修について

委員 夏休みの研究会では学芸員の作品説明を聞いたため深みのある見方が出来て勉強になった。通常時にも学芸員の説明を聞けると大変ありがたい。例えばイヤホンで作品の前で説明を聞くことができるような工夫があればよいが。

事務局 すでに熊本県立美術館や熊本博物館等でも音声やポケット学芸員等アプリを使用した音声ガイドを行っている施設が増えてきている。貴重なご意見として前向きに検討したいと思う。

委員 私は博物館が大好きで、年に1, 2回博物館に来ている。特に外観が好きだ。朝早くから博物館の周りを走ったり犬の散歩をする人をよく見かけ、市民の憩いの場になっていると思う。多くの人にとっては建物を外から見る時間の方が長くて、その建物の持つ価値の一つはデザイン性だと思う。30年前に博物館が建った時は県のアートポリス構想に影響を受けたものと思う。アートポリスの趣旨から言うと数十年後も価値のある建物、そういうデザイン性のあるものを目指していると考えますが、この博物館は目的を達成していると思う。建物の設備改修などの機能性の維持も大事だし展示も大切だが、この建物の外観が持っている価値が大事だと思う。

事務局 建物は伊東豊雄設計事務所によるもので、見えるところの改修については事務局に相談しながら進めていくことになると思う。外観については特に変える予定はない。

委員 今回は維持のための改修だが、新しく取り入れる改修はないのか。

事務局 予算の兼ね合いがあるのであくまでも希望だが、トイレの洋式化を進めたい。また、正面入口は手動だが、公共施設で手動ドアはほとんど残っていないので自動ドアにいずれしたいと考えている。

委員 障がい者対策についてはどうか。

事務局 車椅子の方が一人でスロープを上がるのは厳しく、実際は警備室からエレベーターを使って裏口から入っていただいている。またエレベーターがコンパクトなため中で向きが変えられない状況である。出来るだけUDの考えを反映していきたいと考えているが、優先順位等を考慮して検討していきたい。

- 委員 重要文化財をお預かりしているのです、その保管をするにあたって空調は、美術館、博物館の生命線だと思う。2年間の休館でぜひ空調設備の改修をしっかりと行っていただきたい。大型エレベーターが故障すると部品もないし、展示物の移動が出来ず展覧会も開催出来ない。トイレの改修にはコロナの補助金を使えば良かったのではと思うが、予算の中で優先順位をつけながら改修をきちんと行っていただきたい。予算確保をがんばってください。
- 事務局 コロナ補助金を使つての工事となると一定期間休館することになり、展示スケジュール調整が難しかったこと、さらに大規模改修も控えていたことから申請を断念した経緯がある。

(イ) 休館中の博物館事業について

- 委員 展示会以外の他の活動については工夫するチャンスだと思うが力を入れたいことは。
- 事務局 学校との連携を深めることが有効だと思うので学校への出前講座に力を入れたい。
- 委員 出前講座は学校にとってありがたい。以前、仕事や生活に使っていた道具を持ってきてもらって説明していただいている。インターネットを通じて見ると、目の前で現物を見て触れるのでは子どもにとって印象に残る強さが違う。
- 委員 日頃から県立美術館と連携していると思うが、工事休館中、八代市立博物館の収蔵品を県立美術館の常設展に一部スペースを借りて展示するのはどうか。博物館が再開した時に八代に行くきっかけにもなると思う。
- 委員 日頃から八代市立博物館と県美は連携している。現在県美で行っている永青文庫展でも市博からお借りしたものをすでに展示している。市博との連携は今後も続けていきたいと思っている。
- 会長 報告事項、協議事項共に終了したので、事務局にお返しします。

5 館長謝辞

～ 15時30分 閉会 ～